

第2回 統合準備会

日時 令和元年6月27日 午後7時30分

場所 森中学校 ランチルーム

内容

- 2 全体会議 (1)PTA分野について
(2)事務分野について
(3)式典分野について
(4)教育分野について
(5)通学分野について

※連絡事項 次回統合準備会開催日

進行:学校教育課長補佐

発言要旨

発言者	内 容
学校教育課長	本日大雨の予報もあり、限られた時間の中で会議となる。意見を文字にしてメール、ファックス、口頭でも教育委員会へ求める。 今回の会議は教育分野・PTA分野、通学分野ごとに資料を作ったが、全体の共通認識を図るため全員へ説明する。 通学分野へ大河内方面地区の大石委員が加わった。
三倉小学校PTA 母親代表	三倉天方地区は、広範囲であることから、通学において多くの問題があるため、意見を聞いてもらい、委員の気持ちを汲んでもらいながら、今後お願いしたい。
学校教育課長補佐	最初にPTA分野について、委員長の森中学校松田教頭先生から説明をお願いする。
森中学校教頭	森中学校では、お祭り等が11月にあり、役の重なりがあるため、9月から役員決を進めている。そのため、第1回の会議で示したスケジュールを資料のとおり前倒しで進める必要があると考えている。会計については事務分野で検討をするように調整した。早めの検討が必要であるため、意見を集めて協議を進める必要がある。特に次年度以降の役員の選出について検討が必要である。現在の森中学校のPTAの内容で進めていくことを想定しているが、見えないところがあるため、今後検討していく。
学校教育課長補佐	今までのところで、質問等あればお願いしたい。
学校教育課長補佐	続いて、事務分野について説明をお願いする。
泉陽中学校	事務分野について、資料4ページの説明。 6月に入り、図書アドバイザーが図書の確認をしている。共同学校事務室で、泉陽中学校備品を確認した。今後8月5日に森中泉陽中の教員で備品を確認し、その他の小中学校で備品を利用できるかどうかの確認をする。
学校教育課長補佐	今までのところで、質問等あればお願いしたい。
学校教育課長補佐	続いて、式典分野について説明をお願いします。
泉陽中学校	式典分野では、閉校式に歌う合唱曲を生徒が作詞作曲している。1学期中に作詞作曲し、曲が完成する予定。
学校教育課長補佐	今までのところで、質問等あればお願いしたい。

発言者	内 容
森中学校教頭	教育分野について委員長から説明する。
森中学校校長	教育分野について、統合についての思いを伝える。私自身、泉陽中出身。44年経つ。伊豆沖地震、七夕豪雨、60年ぶり大雪、大きな思い出が残っている。母校がなくなることは寂しいこと。泉陽中、森中で勤務もしている。使命であり、尽力する。地元の学校、母校の気持ちが行先し、生徒の気持ちをないがしろにしてしまうことは本末転倒。学校の性質上、教育課程については、ほとんど同じである。教育課程の編成は、全職員による教育課程次年度の編成作業を進めていく。資料の8ページ、統合が発表後、生徒の心を整えることを心がけた。泉陽中学校校長と話して同一の内容を生徒に話した。資料朗読。資料の2を説明。本年度の始業式で統合に向けて生徒を導くような講話をした。校長を始め教師の気持ちを読み取ってくれたらと思う。
森中学校教頭	教育目標、経営目標について、グランドデザイン、資料3を使って説明。
森中学校校長	昨年の統合発表からどのような学校にしたいかを考え、経営構想を作ってきた。キーワードは、「自主協同」と、サブタイトル「友と学び友と生きる。」である。重点目標については資料にて確認を。中学校の経営目標は3か年サイクルで経営構想を作っていく。3年間は変更しないで実施する。泉陽中学校、森中学校で考えて進めていく。
森中学校教頭	学校間で教育課程に関わること、学習の進度を付け合わせていく。補助教材について同じ物を使う。今年度、定期テストを同日に同じ問題で実施している。生徒の活動、生徒会役員は会長等複数で対応し、力を合わせて取り組む。部活動は今まで所属の部活動を最後まで活動していく。野球部については現在も合同のチームで取り組んでいる。陸上部については、可能な範囲で2校で取り組んでいる種目で西部通信へむけて進めている。今年度2学期以降、希望あれば部活動参加を認めていきたい。修学旅行について、前年度中に事前計画をするため共通で調整して進めていく。 卒業アルバムについては職員が材料を持っている。今後の授業、10月終わりの常磐祭の時に合同の合唱を計画している、2月4日1・2年生合同の授業を考えている。 学校運営に関わること、校則の調整が必要であれば生徒指導の先生が調整する。制服体操服については問題なし、体操服・通学バッグはどちらを使ってもよい。町へ要望として、体操服・通学バッグ等無償で支給できればと考える。 警報の状況について、森中学校では11時の段階で警報が解除されなければ休校となる運用となっている。泉陽中学校の運用と併せて8時30分で統一していく必要があるのではないかと考える。自転車通学が増えると考え。自転車置き場の設置、修繕が必要となる。
学校教育課長補佐	今までのところで、質問等あればお願いしたい。
天方小学校PTA	防災計画のところ、前回、通学区域が広がることから、泉陽中学校の防災計画に習っていくことが望ましいと考えられる。検討するにあたり、たたき台を示してもらいたい。
森中学校校長	防災計画については、泉陽中学校、森中学校の現在の防災計画であればすぐに見せられる。
森地区町内会長	学校の交流、生徒同士の顔合わせは何回もやっていくのか。
森中学校教頭	今年度、教育課程の中で年2回、交流授業を行う予定である。更に、新3年生は修学旅行学習会を一緒に行う。
学校教育課長補佐	続いて、通学分野について説明お願いします。
泉陽中学校校長	平成30年度は警報など、学校休校は年間3日あった。今年度は1日である。泉陽中学校区には危険箇所は数多くあるが、この会の中で可能な範囲で安全な登校について検討していく。
企画財政課長	説明会資料P15を説明。

発言者	内 容
三倉小学校PTA 母親代表	三倉はバス停から1km,4kmから5kmの人が多い。現状は親が負担しないと通えない状況自分の小さな頃も両親も同じように送迎していた。 バス停で終わりではなく、もうすこし自宅までのサポートが必要。子供の自転車を乗せて送迎をするため車を買換える家が多い。三倉地区では負担となっている。スクールバスが難しいとのことだが、安全を最優先にしていくとスクールバスの検討を今一度検討してもらえないか。
企画財政課長	統合により新たに生じる負担を少なくする検討をしていく。自宅からバス停は長年にわたる懸案事項として認識。現状バス停までご父兄送迎をしている。短期的には現状を維持しつつ、長期的に懸案事項を対策検討していくよう考えてもらえたらと思う。京都府では遠距離児童生徒の通学に自治会補助金(ガソリン相当額)をしている事例があり、地域での取り組みを考えていくことも検討していけばよいのではないかな。
天方小学校PTA	今の時代にスクールバスを走らせることは現実的では無いことはわかる。スクールバスを業者委託すれば費用抑えられるのではないかな。(国県補助の基準である15人の輸送量について)生徒が乗らないだけで22人の輸送量が15人に減少することは無いのではないかな。検討の余地はないのか。
企画財政課長	現状、15人以上となっていて、基準をギリギリクリアするが、補助金申請する数字としては厳しい数字となる。 スクールバスを検討の余地は難しい。運転手の確保が出来ないこともスクールバスの運行の大きな問題点となっている。業務委託を受ける企業としても運転手の確保が出来ないことが現状である。業務委託でも町でスクールバスを持って運行する場合においても、難しいと考える。
泉陽中学校長	(歩道整備やスクールバスの導入などの)予算に関わることをこの統合準備会でどうこうできることではない。 限られた予算の中でこういった対応ができ、危険箇所がある中で安全に登校させることが出来るかを検討していくことが必要であると思う。
学校教育課長補佐	通学路の危険箇所を資料を基に説明。通学路2kmが自転車通学になる目安となる。6kmの円については、通学費補助についての目安となる。 通学費補助の要綱について説明。
学校教育課長補佐	本日森町議会において森町立学校設置条例の改正が可決された。これにより、泉陽中学校と森中学校との統合が正式に決定した。
学校教育課長補佐	次回8月29日午後7時から泉陽中学校ランチルームで行う。 意見等メールファックス等をお願いしたい。 以上をもって終了とする。(20:50)